



2014年6月9日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目1番28号
日本通信株式会社
代表取締役社長 三田 聖二
(コード番号:9424)
問合せ先 代表取締役副社長 福田 尚久
電話 03-5776-1700

主要株主の異動に関するお知らせ

日本通信株式会社(以下、「当社」という)は、当社の社外取締役であるテレーザ・エス・ヴォンダーシュミット氏が保有するトラスト(以下、「ヴォンダーシュミット・トラスト」という)が、当社の10.03%を占める主要株主になりましたので、お知らせいたします。これにより、当社の長期にわたる安定株主の株式保有率が増加し、併せて、当社財務体質の著しい強化が実現しました。

ヴォンダーシュミット・トラストは、半導体大手のザイリンクス社(本社:米国、証券コード:XLNX)の創業者であるヴォンダーシュミット夫妻が設立したトラストです。ザイリンクス社は、自らは工場を持たずに半導体を製造する業界を生み出したファブレス・セミコンダクター・カンパニーであり、業界のリーディング・カンパニーです。ヴォンダーシュミット・トラストは、当社創業時からの株主であり、テレーザ・エス・ヴォンダーシュミット氏(以下、「ヴォンダーシュミット氏」という)は、1999年から当社の社外取締役を務めています。当社は、NTTドコモと相互接続を実現するため、総務大臣裁定等に多大な時間を費やしましたが、その間、ヴォンダーシュミット・トラストは、2007年12月に4億円、2008年5月に4億円の合計8億円の**新株予約権付社債**(以下、「**本社債**」という)を引き受け、当社を支援していただきました。

本社債のうち、2007年12月の第1回債は決議日の株価が76円(株式分割による調整後の価額、以下同様)の時に行使価額を250円として、2008年5月の第2回債は決議日の株価が208円の時に行使価額を400円として、発行したものです。本社債発行当時の株価では、新株予約権の行使を想定することが困難であった中、ヴォンダーシュミット・トラストに本社債を引き受けていただいたことにより、当社は妥協することなく、目指していた通りの相互接続を実現し、事業展開を果たすことができました。

今般、ヴォンダーシュミット・トラストは、当社株価が安定的に行使価額を上回って推移しており、今後の株価成長も期待されるとして、本社債に付された新株予約権を全て行使しました。これにより、ヴォンダーシュミット・トラストは、当社の総議決権の10.03%を占める主要株主になったものです。

また、本社債の株式への転換に合わせて、当社代表取締役社長三田聖二は、自らが保有する当社株式(エル ティ サンダ ビー・ヴィー・ビー・エーによる保有を含む)を、異動予定日(下記参照:2014年6月20日頃の見込み、以下同様)までに1,030,500株増加させます。これにより、異動予定日における所有株式数は20,092,800株、議決権の数は200,928個となり、総議決権に占める比率は、2014年3月末時点の14.13%から、異動予定日までに14.38%に引き上げられます。

なお、ヴォンダーシュミット氏は、当社代表取締役社長三田聖二の実姉であるため、今回の両者の当社株式保有比率の引き上げにより、姉弟の持ち分を合計した議決権比率は、2014年3月末時点の22.20%から、異動予定日までに24.41%に引き上げられます。

本社債の新株予約権全部行使により、当社は、一切の現金支出なく、本社債800百万円および本社債未払利息162百万円の合計962百万円の負債が減少します。これにより、先週末（2014年6月6日）時点において、当社の現金保有残高は2,591百万円、借入総額は776百万円となり、ネットキャッシュ（手元流動性資金から有利子負債を引いた実質的な現金残高）は1,815百万円になりました。

以上のとおり、本社債の株式への転換により、当社は、1）長期にわたる安定株主の更なる株式保有率増加、及び、2）財務体質の著しい強化を実現しました。このことは、当社がこれまでに切り拓いてきた現在急速に拡大しつつあるMVNO市場において、当社がリーダーシップを発揮する財務基盤を獲得したことになります。

1. 本社債に付された新株予約権の行使の内容

社債の名称	第1回債	第2回債
発行日	2007年12月21日	2008年5月27日
社債総額	4億円	4億円
新株予約権の行使価額（注）	250円	400円
行使請求日	2014年6月6日（米国時間）	
行使請求者	ヴォンダーシュミット・ジョイント・トラスト （旧名称：バーナード・ヴィ・アンド・テレーザ・エス・ヴォンダーシュミット・ジョイント・トラスト・ディーティーディー ジャニュアリー4. 1996）	
交付株式数（株）	1,936,706株	1,195,033株
現時点における未行使残存額	0円	0円

（注）2009年7月1日付株式分割（1株を5株に分割）および2014年4月1日付株式分割（1株を100株に分割）による調整後の価額です。

2. 主要株主の異動

(1) 異動が生じた経緯

本社債の唯一の社債権者であるヴォンダーシュミット・ジョイント・トラスト（旧名称：バーナード・ヴィ・アンド・テレーザ・エス・ヴォンダーシュミット・ジョイント・トラスト・ディーティーディー ジャニュアリー4. 1996）が、上記1.の新株予約権を行使しました。その結果、同トラストは、当社株式の総議決権の10.03%を所有する主要株主となります。

(2) 新たに主要株主となる株主の概要

(i) 名称	ヴォンダーシュミット・ジョイント・トラスト
(ii) 所在地	510 Mendel Lane, Jasper, Indiana 47546 USA
(iii) 当社との関係	当社の社外取締役であるヴォンダーシュミット氏が保有するジョイント・トラスト

(3) 異動予定年月日 2014年6月20日頃の見込み

(4) 異動前後における当該株主の所有議決権の数（所有株式数）および総株主の議決権の数に対する割合

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の数 に対する割合（注）	株主順位
異動前 (2014年3月31日現在)	108,850個 (108,850株)	8.07%	第2位
異動後	140,167個 (14,016,739株)	10.03%	第2位

(注1) 2014年3月31日現在の発行済株式総数 1,349,030株
(議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 150株)

(注2) 2014年4月1日に1株を100株に分割する株式分割を行っています。

(注3) 異動後の「総株主の議決権の数に対する割合」は、2014年3月31日現在の総株主の議決権数に、2014年4月1日から異動予定日までの間に見込まれる新株予約権（ストックオプション）行使による増加議決権を加え、さらに本権利行使により増加した議決権を加えた139,707,739株を分母としています（なお、本権利行使による単元未満株式の発生以外に単元未満株式は生じていない前提で算出しています）。

(注4) 「総株主の議決権の数に対する割合」は小数点以下第三位を四捨五入しています。

3. 業績に与える影響

今般、本社債に付された新株予約権が全部行使されたことにより、当社の負債が962百万円減少する一方、株主資本が962百万円増加しました（資本金および資本準備金がそれぞれ481百万円の増加）。

なお、新たに主要株主となったヴォンダーシュミット・トラストは、当社の社外取締役であるヴォンダーシュミット氏が保有するトラストであり、当社株式を長期的に継続所有する意向です。

■日本通信について

1996年5月24日、日本通信は新たなモバイルサービス事業のあり方を提示するため生まれました。それから13年の歳月を経て、2009年3月、NTTドコモとの相互接続により「MSO事業モデル」を完成させました。総務省の携帯市場のオープン政策のもと、メーカー、流通、ソフトウェア・デベロッパーの皆さまがキャリアに依存することなくビジネス展開ができるよう、パートナー企業の皆さまのビジネス形態に合わせて携帯通信を最適化しご提供しています。ネットワークを効率的に運用する当社独自の先端技術やリアルタイムの認証技術などによって、ユニークな通信サービスをつくりだしております。自社b-mobileブランド製品をお客さまに提供するMVNO事業、及びメーカーやインテグレータ他のパートナー企業に提供するMVNE事業を展開しています。

MSO=Mobile Service Operator

※文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。